

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

大規模輪作水田（普通作物）における環境負荷軽減のための主要病害虫制御技術の開発（平成 21 年～22 年度）

2) 参考データ

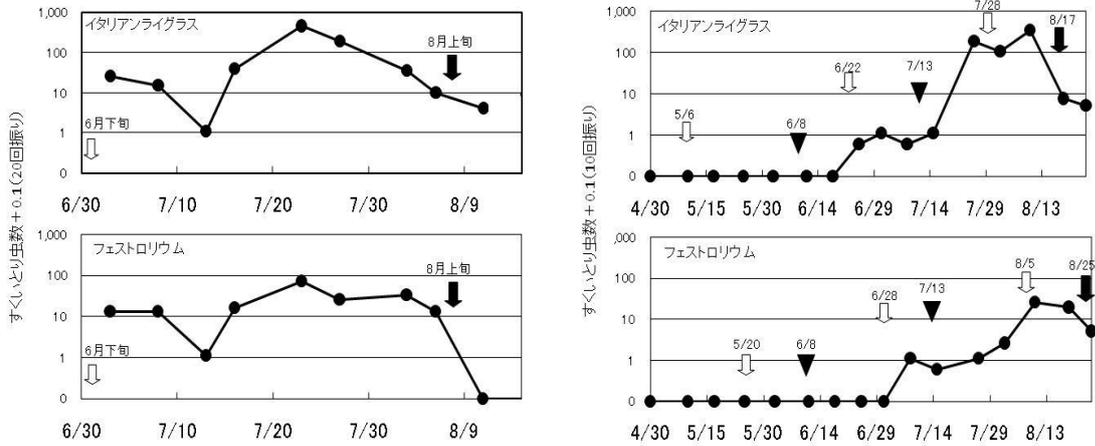


図3 牧草地におけるアカスジカスミカメ成虫の発生推移（左図 平成 21 年，右図 平成 22 年）

注 1) すくいとり虫数は 2 反復の平均値

注 2) 図に示した白矢印は牧草の出穂期，黒矢印は牧草が枯死した時期，黒三角は草刈り時期である。

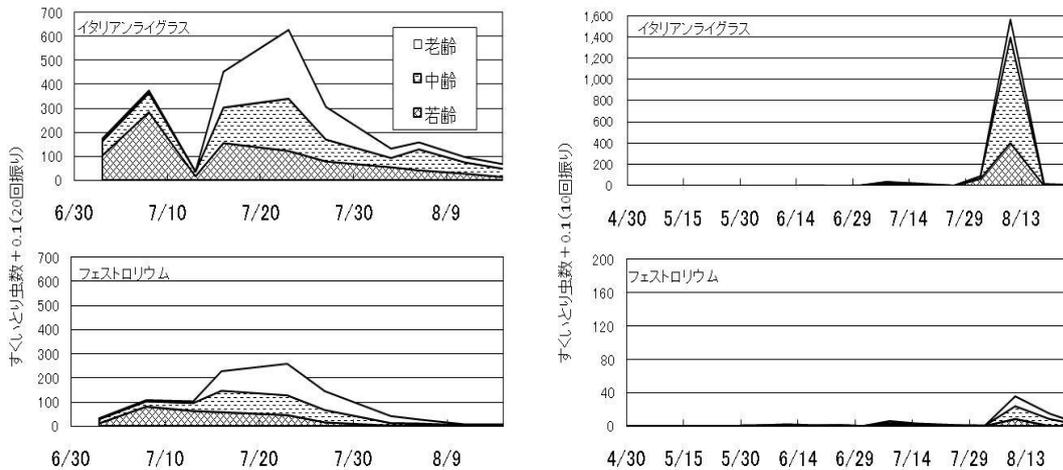


図4 牧草地におけるカスミカメムシ類幼虫の発生推移（左図 平成 21 年，右図 平成 22 年）

注 1) すくいとり虫数は 2 反復の平均値

注 2) 若齢は 1～2 齢，中齢は 3～4 齢，老齢は 5 齢幼虫を示す。

3) 発表論文等

a 発表論文

- a) 大槻恵太，鈴木智貴，加進丈二，小野亨（2011） 牧草種フェストロリウムにおけるアカスジカスミカメの産卵と発生消長 北日本病害虫研究会報 62：199-203

b その他

- a) 平成 23 年度東北農業研究成果情報